

令和5年度
文部科学省委託調査

令和5年度
「公的統計調査等を活用した教育施策の
改善の推進するための取組」
(教育統計調査のデータ整備に係る調査研究)

調査報告書

令和6年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

目次

第1章 調査概要	1
1-1 調査目的	1
1-2 調査内容	2
第2章 文部科学省統計の機械判読化調査	3
2-1 対象とする調査	3
2-2 調査項目	4
2-3 調査結果	5
第3章 機械判読可能な統計表作成のためのマニュアル作成	6
1. 現在の統計表の修正点チェック	7
(1) 統一ルール	7
(2) 文部科学省統計において注意すべき点	8
2. Excel ファイルによる統計表のレイアウト作成	10
2-1. レイアウト作成の手順	10
2-2. 既存統計表をベースにレイアウトを作成する場合	15
2-3. 修正例	21
第4章 補足	23
4-1 同じ統計で異なるレイアウトの表を作成している	23
4-2 集計項目（平均値など）の位置がわかりにくい	24
4-3 表頭と表側の配置について	25

第1章 調査概要

1-1 調査目的

「公的統計の整備に関する基本的な計画」（令和5年3月28日閣議決定）では、公的統計の利用の基盤整備において、「各府省は、統計調査の結果、業務統計及び加工統計を含め、所管する統計データをe-Statに登録する。また、機械判読可能な統計データの整備に係る各種方針を踏まえ、メタデータの整備、機械判読可能な形式でのデータ提供の拡充、API機能に対応するための統計情報データベースでの登録を計画的に実施する。」こととされている。

文部科学省が所掌する公的統計調査は、4つの基幹統計調査（統計法第9条に定める統計調査）及び18の一般統計調査（同法第19条第1項に定める統計調査）について、政府統計の総合窓口（以下「e-Stat」という。）に登録、掲載しているところであるが、メタデータの整備や機械判読可能な形式でのデータ提供について対応が進んでいない状況である。そのため、統計データの整備が改善できるように、文部科学省が行う公的統計調査において収集されたエビデンス等の活用に資するデータ整備等のための調査研究を行うものである。

本調査研究により、文部科学省が行う公的統計調査のデータ整備が促進するとともに、教育統計調査において収集されたエビデンス等が活用され、教育分野における統計調査の推進に資することを目的とする。

1-2 調査内容

文部科学省の基幹統計調査及び一般統計調査について、機械判読化の有無を調査するとともに、既存の統計表をそのまま機械判読化するのではなく、最初から機械判読可能な統計表とするためのマニュアルを作成する。

なお、機械判読化の有無に当たっては、総務省統計局「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法¹」（令和2年12月18日）を参考にして調査・分析を行う。

具体的な作業手順は、下記の通り。

(1) 文部科学省統計の機械判読化調査

文部科学省の基幹統計調査及び一般統計調査について、「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」のチェック項目に対応している内容となっているかを確認する。

(2) 機械判読可能な統計表作成のためのマニュアル作成

(1) の調査結果を踏まえて、最初から機械判読可能な統計表とするためのマニュアルを作成する。

¹ https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01toukatsu01_02000186.html

第2章 文部科学省統計の機械判読化調査

文部科学省の基幹統計調査及び一般統計調査について、「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」のチェック項目に対応している内容となっているかを確認する。

2-1 対象とする調査

文部科学省が所管する基幹統計（全4調査）、一般統計（全18調査）を対象とする。具体的な調査名は、下記の通り。

■調査対象とした統計一覧■

(1) 府省名	共管実施時の 府省名	(2)政府統 計コード	(3)統計調査名	(4)統計調査の 区分	(5)周期
共管	文部科学省及び厚生労働省	00400402	大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職内定状況等調査	一般統計調査	年4回
共管	文部科学省及び厚生労働省	00400203	21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）	一般統計調査	年
文部科学省		00400001	学校基本調査	基幹統計調査	年
文部科学省		00400002	学校保健統計調査	基幹統計調査	年
文部科学省		00400003	学校教員統計調査	基幹統計調査	3年
文部科学省		00400004	社会教育調査	基幹統計調査	3年
文部科学省		00400201	子供の学習費調査	一般統計調査	2年
文部科学省		00400202	地方教育費調査	一般統計調査	年
文部科学省		00400303	高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況に関する調査	一般統計調査	年3回
文部科学省		00400304	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査	一般統計調査	年
文部科学省		00400306	学校における教育の情報化の実態等に関する調査	一般統計調査	年
文部科学省		00400401	大学・短期大学・高等専門学校におけるインターンシップ実施状況調査	一般統計調査	2年
文部科学省		00400501	民間企業の研究活動に関する調査	一般統計調査	年
文部科学省		00400502	大学等におけるフルタイム換算データに関する調査	一般統計調査	5年
文部科学省		00400503	全国イノベーション調査	一般統計調査	2年
文部科学省		00400504	ポストドクター等の雇用・進路に関する調査	一般統計調査	3年
文部科学省		00400601	学術情報基盤実態調査	一般統計調査	年
文部科学省		00400802	学校給食実施状況等調査	一般統計調査	2年
文部科学省		00400803	学校給食栄養報告	一般統計調査	2年
スポーツ庁(文部科学省)		00400804	体力・運動能力調査	一般統計調査	年
文化庁(文部科学省)		00401101	宗教統計調査	一般統計調査	年
スポーツ庁(文部科学省)		00402101	体育・スポーツ施設現況調査	一般統計調査	3年

2-2 調査項目

「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」に基づいて 22 種の統計表において機械判読可能となっていない部分を洗い出す。具体的には、以下のチェック項目を確認した。

■「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」のチェック項目■

チェック項目 1-1	ファイル形式はExcel かCSV となっているか
チェック項目 1-2	1セル1データとなっているか
チェック項目 1-3	数値データは数値属性とし、文字列を含まないこと
チェック項目 1-4	セルの結合をしていないか
チェック項目 1-5	スペースや改行等で体裁を整えていないか <ul style="list-style-type: none"> ・スペースで体裁を整えていないか ・改行で体裁を整えていないか ・タイトルや項目名等を複数のセルに分けて表示していないか
チェック項目 1-6	項目名等を省略していないか
チェック項目 1-7	数式を使用している場合は、数値データに修正しているか
チェック項目 1-8	オブジェクトを使用していないか
チェック項目 1-9	データの単位を記載しているか <ul style="list-style-type: none"> ・見出しなどに一括で単位を書いていないか ・学校数、施設数、人数などでも単位を書いているか ・単位と表頭（項目名）は別のセルに分けているか
チェック項目 1-10	機種依存文字を使用していないか
チェック項目 1-11	e-Stat の時間軸コードの表記、西暦表記又は和暦に西暦の併記がされているか
チェック項目 1-12	地域コード又は地域名称が表記されているか <ul style="list-style-type: none"> ・正式名称と異なる表記を使っていないか
チェック項目 1-13	数値データの同一列内に特殊記号（秘匿等）が含まれる場合 <ul style="list-style-type: none"> ・特殊記号（秘匿等）で独自の定義を使っていないか ・使用ルール記載なしで独自の定義を使っていないか
チェック項目 2-1	データが分断されていないか

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不必要な空白行・列でデータを分断していないか ・ 印刷用に表の途中で表側を入れていないか ・ 表の折り返しをしていないか
チェック項目 2-2	1シートに複数の表が掲載されていないか

2-3 調査結果

調査結果は、別紙1の通り。

第3章 機械判読可能な統計表作成のためのマニュアル作成

2章の調査結果を踏まえて、最初から機械判読可能な統計表とするためのマニュアルを作成する。

次頁以降に作成したマニュアルを示す。

教育統計調査のデータ整備に係る調査研究 機械判読可能な統計表とするためのマニュアル

本マニュアルでは、総務省「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法(令和2年12月18日)」²(総務省統計局)に従い、機械判読可能な統計表を作成するための方法を示す。

1. 現在の統計表の修正点チェック

(1) 統一ルール

機械判読可能な統計表の作成にあたり、まずは現在の統計表において、機械判読可能となっていない部分を洗い出す。「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」では、Excelにおいて機械判読可能なデータを作成するにあたり、以下のチェック項目を示している。

■「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」のチェック項目■

チェック項目 1-1	ファイル形式はExcel かCSV となっているか
チェック項目 1-2	1セル1データとなっているか
チェック項目 1-3	数値データは数値属性とし、文字列を含まないこと
チェック項目 1-4	セルの結合をしていないか
チェック項目 1-5	スペースや改行等で体裁を整えていないか
チェック項目 1-6	項目名等を省略していないか
チェック項目 1-7	数式を使用している場合は、数値データに修正しているか
チェック項目 1-8	オブジェクトを使用していないか
チェック項目 1-9	データの単位を記載しているか
チェック項目 1-10	機種依存文字を使用していないか
チェック項目 1-11	e-Stat の時間軸コードの表記、西暦表記又は和暦に西暦の併記がされているか
チェック項目 1-12	地域コード又は地域名称が表記されているか
チェック項目 1-13	数値データの同一列内に特殊記号(秘匿等)が含まれる場合
チェック項目 2-1	データが分断されていないか
チェック項目 2-2	1シートに複数の表が掲載されていないか

² https://www.soumu.go.jp/main_content/000723626.pdf

(2) 文部科学省統計において注意すべき点

(1)統一ルールに対し、文部科学省の基幹統計調査及び一般統計調査について確認を行った結果、修正対応が必要となる項目は、下記の通りであった。

また、その際の対応方法の例をあわせて紹介する。

■文部科学省統計でみられた修正点■

項目		具体的な内容	対応方法（例）						
チェック項目 1-3	数値データは数値属性とし、文字列を含まないこと	<p>“～”を使用している。</p> <p>例)</p> <table border="1"> <tr> <td>1 県あたり調査対象者数</td> <td>291～1111</td> </tr> </table>	1 県あたり調査対象者数	291～1111	<p>“～”を使用しないで表示できるレイアウトに変える。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 県あたり調査対象者数 (最大)</td> <td>291</td> </tr> <tr> <td>1 県あたり調査対象者数 (最小)</td> <td>1111</td> </tr> </table>	1 県あたり調査対象者数 (最大)	291	1 県あたり調査対象者数 (最小)	1111
1 県あたり調査対象者数	291～1111								
1 県あたり調査対象者数 (最大)	291								
1 県あたり調査対象者数 (最小)	1111								
チェック項目 1-4	セルの結合をしていないか	表頭、表側における結合	結合を解除し、それぞれのセルに表頭、表側を記載						
チェック項目 1-5	スペースや改行等で体裁を整えていないか	表頭、表側をスペースで体裁を整えている	スペースを削除						
		表頭、表側を改行で体裁を整えている	改行をなくす						
チェック項目 1-6	項目名等を省略していないか	区分内訳等の大項目名の記載を、2つ目から省略している。	全てのセルに大項目名を記載する。						
		表頭の一番左の列（冒頭のセル）が空欄	該当列の項目名を記載する						
チェック項目 1-8	オブジェクトを使用していないか	{ の使用など。	オブジェクトをカット。必要に応じて列などを追加し、表側の表記を修正する。						
チェック項目 1-9	データの単位を記載しているか	データの単位の記載がない	表頭部分に単位を記載する行を追加し、各データの表頭に単位を記載						
		見出しや表頭左端のみに単位が書かれており、各データの表頭に単位の記載がない。	表頭部分に単位を記載する行を追加し、各データの表頭に単位を記載						

項目		具体的な内容	対応方法（例）
		学校数、施設数、人数などで単位を書いていない	表頭部分に単位を記載する行を追加し、各データの表頭に単位を記載
		単位と表頭（項目名）を同じセルで表記（例：行為者（人））	表頭（項目名）と単位の行を分ける。
チェック項目 1-10	機種依存文字を使用していないか	cm（センチメートル）等を使用している。	cmなど、アルファベットを用いた表記に変える。
		①等を使用している。	1など機種依存以外の数字に変える
チェック項目 1-12	地域コード又は地域名称が表記されているか	都道府県名の略称が記載されている（例：青森 など）。	正式名称（例：青森県）にする
		東京（23区）という表記	特別区部に修正。 ※調査独自で地域コードを設定していることなどにより、統計表上でその利用が必須の場合には、これによらない。
チェック項目 1-13	数値データの同一列内に特殊記号（秘匿等）が含まれる場合	次の定義に従っていない ・集計した結果がゼロ⇒0 ・集計に必要なデータがない⇒ *** ・秘匿データ⇒X の定義使用	各定義にしたがって修正
		特殊記号について独自定義を記載し、使用する（例：「-」は計数がない場合、「…」は計数があり得ない場合又は調査対象外の場合）	各府省、各調査間で結果表の体系を統一し、ユーザの利便性向上に資することを目的としていることから、原則、1-13に定める記号に統一
		定義なく特殊記号を使用	
チェック項目 2-1	データが分断されていないか	体裁を整えるために、空白列、空白行を使用している。	空白列、空白行をカット
		印刷用に表の途中に表側を入れる	途中の表側をカット
		表を折り返している	折り返さず続ける
チェック項目 2-2	1シートに複数の表が掲載されていないか	発表資料としても活用するため、1シートに複数の表を入れている。	1シートで1つの表にする

2. Excel ファイルによる統計表のレイアウト作成

2-1. レイアウト作成の手順

機械判読可能な統計表のレイアウトの手順は、下記の通り。

(0) 事前準備

- ・ 集計項目（行×列）の決定
- ・ 表頭（行）、表側（列）に掲載する内容の決定
（項目名称、項目の区分、単位等）

(1) レイアウトの作成

(注意事項)

- ・ ファイル形式はExcelかCSVとする（1-1）
- ・ 1つのシートに1つの表とする（複数の表を入れない）（2-2）
- ・ 空白行・列は使用しない（2-1）
- ・ 表の途中で表側を入れない（2-1）
- ・ 表の折り返しをしない（2-1）

(2) 表頭・表側の作成

(注意事項)

- ・ データの単位を記載する行を設ける（1-9）
- ・ セルの結合をしない（1-4）
- ・ スペースや改行等で体裁を整えない（1-5）
- ・ 項目等を省略しない（1-6）
- ・ オブジェクトを使用しない（1-8）
- ・ 時間に関する項目がある場合⇒西暦表記、または和暦・西暦の併記（1-11）
- ・ 地域に関する項目がある場合⇒正式名称、あるいは地域コードを記入（1-12）

(3) データ入力

(注意事項)

- ・ 1セル1データとする（1-2）
- ・ 数値データは数値属性とする（文字列を含まない）（1-3）
- ・ 数式を使わない（数式で算出した値は数値属性に変換）（1-7）
- ・ 機種依存文字を使用しない（1-10）
- ・ 秘匿等の特殊処理について統一ルールに従う（1-13）

(0) 事前準備

事前準備として、集計項目(行×列)を決定し、表頭(行)・表側(列)それぞれに掲載する内容(項目名称、項目の区分、単位等)を決定する。

(1) レイアウト(アウトライン)の作成

以下の点に注意して、表のレイアウト(アウトライン)を作成する。

- ・ファイル形式は Excel か CSV とする (1-1)
- ・1つのシートに1つの表とする(複数の表を入れない) (2-2)
- ・空白行・列は使用しない (2-1)
- ・表の途中に表側を入れない (2-1)
- ・表の折り返しをしない (2-1)

<作成イメージ>

表タイトル

《作表上の注意》

- ・1つのシートに1つの表とする(複数の表を入れない)
- ・空白行・列は使用しない
- ・表の途中に表側を入れない
- ・表の折り返しをしない

<間違った例>

表タイトル

1つのシートに複数の表を作る。

空白行・列がある

表の途中に表側がある

表タイトル

北海道						北海道			
青森県						青森県			
岩手県						岩手県			
⋮						⋮			
⋮						⋮			
⋮						⋮			

(2) 表頭・表側の作成

作成したレイアウト(アウトライン)に表頭、表側の項目を入力する。項目には表頭には、データの単位を記載する行も設ける(1-9)。

その他、以下の点に注意する。

- ・セルの結合をしない (1-4)
- ・スペースや改行等で体裁を整えない (1-5)
- ・項目等を省略しない (1-6)
- ・オブジェクトを使用しない (1-8)
- ・時間に関する項目がある場合⇒西暦表記、または和暦・西暦の併記 (1-11)
- ・地域に関する項目がある場合⇒正式名称を記入、あるいは地域コードを記入 (1-12)

<作成イメージ>

表タイトル

表頭に、項目の単位を入力する行を設け

地域	年月	就職内定率	就職内定率	就職内定率
地域	年月	全体	男子	女子
地域	年月	%	%	%
北海道	2022			
北海道	2021			
北海道	2020			
青森県	2022			
青森県	2021			
青森県	2020			

・セルの結合をしない
 ・スペースや改行等で体裁を整えない
 ・オブジェクトを使用しない

・項目名はすべてのセルに記載し、
 名称省略をしない

・地域名称は地域コードまたはそれに定められた
 名称を使用する
 ・年月は西暦表記する

■ (補足) 項目名の省略について (チェック項目 1-6)

集計した項目なども、項目名は省略せず記載する。

例)

現状

○都道府県別「教員のICT活用指導力」の状況(「できる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合の大項目別平均)及び研修を受講した教員の割合【令和4年度において授業を担当している教員】(令和5年3月1日現在)

都道府県別 (合計)	大項目A 平均	大項目B 平均	大項目C 平均	大項目D 平均	令和4年度中にICT活用指導力の状況の各項目に関する研修を受講した教員の割合
北海道	89.0	78.8	81.5	88.4	67.1
青森県	88.8	76.6	78.8	84.9	79.9
岩手県	86.7	74.0	77.5	85.8	69.3
宮城県	85.8	72.9	75.4	84.8	71.1
秋田県	87.6	72.7	77.0	84.4	84.5
山形県	88.2	75.7	78.9	86.0	65.5
福島県	85.3	72.2	74.8	84.2	63.2
茨城県	92.2	84.3	85.7	90.9	88.1
栃木県	88.5	77.9	79.9	88.3	69.4
群馬県	88.4	76.1	77.6	86.6	69.9
埼玉県	90.4	80.3	81.7	88.9	72.9
千葉県	87.4	76.5	78.2	86.5	61.6
東京都	90.9	82.6	83.1	89.7	66.4
神奈川県	85.7	75.4	76.5	84.7	62.3
新潟県	90.0	77.3	80.0	87.6	72.0



修正案：表頭項目が理解できるように設問の文言を追加する。

○都道府県別「教員のICT活用指導力」の状況(「できる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合の大項目別平均)及び研修を受講した教員の割合【令和4年度において授業を担当している教員】(令和5年3月1日現在)

都道府県別 (合計)	A教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力の平均	B授業にICTを活用して指導する能力の平均	C児童生徒のICT活用を指導する能力の平均	D情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力の平均	令和4年度中にICT活用指導力の状況の各項目に関する研修を受講した教員の割合
北海道	89.0	78.8	81.5	88.4	67.1
青森県	88.8	76.6	78.8	84.9	79.9
岩手県	86.7	74.0	77.5	85.8	69.3
宮城県	85.8	72.9	75.4	84.8	71.1
秋田県	87.6	72.7	77.0	84.4	84.5
山形県	88.2	75.7	78.9	86.0	65.5
福島県	85.3	72.2	74.8	84.2	63.2
茨城県	92.2	84.3	85.7	90.9	88.1
栃木県	88.5	77.9	79.9	88.3	69.4
群馬県	88.4	76.1	77.6	86.6	69.9
埼玉県	90.4	80.3	81.7	88.9	72.9
千葉県	87.4	76.5	78.2	86.5	61.6
東京都	90.9	82.6	83.1	89.7	66.4
神奈川県	85.7	75.4	76.5	84.7	62.3

出所「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

(3) データ入力

作成したレイアウトにデータを入力する。データ入力の際の注意点は、下記の通り。

- ・ 1セル1データとする (1-2)
- ・ 数値データは数値属性とする (文字列を含まない) (1-3)
- ・ 数式を使わない (数式で算出した値は、値貼り付け等で数値属性に変換) (1-7)
- ・ 機種依存文字を使用しない (1-10)
- ・ 秘匿等の特殊処理について統一ルールに従う (1-13)

<作成イメージ>

表タイトル

	定率	就職内定率
	男子	女子
	%	
北海道	72.7	75.7
北海道	74.8	75.2
北海道	72.1	75.9
青森県	***	45.9
青森県	93.2	***
青森県	74.9	69.5

《データ入力上の注意》

- ・ 1セルに1データのみを記載し、複数の数値や注釈は入れない
- ・ 数値属性とし、文字列等は避ける
- ・ 数式を使用して数値算出したセルは数値変換する
- ・ 機種依存文字を使用しない

数値データの特殊処理は原則以下の記号に統一

特殊処理	記号
集計した結果がゼロ、表章桁未滿	0
集計に必要なデータがない	***
秘匿データ	X

<機種依存文字の例>

丸囲み文字	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
ローマ数字	I II III IV V VI VII VIII IX X
単位記号	cm kg m ²
数学記号	≡ ≠ √ ϕ
省略記号	No. TEL
囲み文字	(株) (有) (代)
固有漢字	纒 鋳 葩 炆

2-2. 既存統計表をベースにレイアウトを作成する場合

既存統計表が「チェック項目2-1」「チェック項目2-2」に関する修正がない場合、既存の統計表を組み替える方が簡便にできる。

以下の点をチェックし、修正を行う。

(1) シート、レイアウトに関するチェック

- a. 空白行・列はないか (2-1)
- b. 表の途中に表側を入れていないか (2-1)
- c. の折り返しをしていないか (2-1)
- d. 1つのシートに、複数の表が入っていないか (2-2)

(2) 表頭・表側に関するチェック

- a. セルの結合をしない (1-4)
- b. スペースや改行等で体裁を整えない (1-5)
- c. 項目等を省略しない (1-6)
- d. オブジェクトを使用しない (1-8)
- e. 単位行の挿入 (1-9)
- f. 時間（西暦）項目、地域項目の確認 (1-11) (1-12)

(3) データ部分に関するチェック

- a. 文字列を使用しない (1-3)
- b. 機種依存文字を使用しない (1-10)
- c. 秘匿等の特殊処理について統一ルールに従う (1-13)

(1) シート、レイアウトに関するチェック

- a. 空白行・列はないか (2-1)
- b. 表の途中に表側を入れていないか (2-1)
- c. 表の折り返しをしていないか (2-1)
- d. 1つのシートに、複数の表が入っていないか (2-2)

表-5-1

年齢別・男女別							年齢別・男女別			
都市階級区分				大・中都市			都市階級区分			
区分				標本数	平均値	標準偏差	区分			
項目				標本数	平均値	標準偏差	6歳(男子)			
				標本数	平均値	標準偏差	小都市			
体格	1	身長 (cm)		358	116.87	4.64	身長	482	117.32	4.86
	2	体重 (kg)		349	21.34	2.67	体重	463	21.68	2.81
テスト	1	握力 (kg)		317	9.17	2.22	握力	458	9.04	2.14
	2	上体起こし (回)		322	12.07	4.64	上体起こし	458	11.97	4.66
テスト	3	長座体前屈 (cm)		322	26.73	6.62	長座体前屈	470	26.73	6.62
	4	反復横とび (点)		458	27.47	5.28	反復横とび	458	27.47	5.28
テスト	5	20m シャトルラン (折り返し数)		331	17.69	9.26	20m シャトルラン	458	18.43	9.11
	6	50m 走 (秒)		352	11.55	1.03	50m 走	472	11.44	1.04
テスト	7	立ち幅とび (cm)		60	117.28	19.05	立ち幅とび	459	117.28	19.05
	8	ソフトボール投げ (m)		28	8.13	3.35	ソフトボール投げ	480	8.13	3.35
	9	合計点		261	30.32	6.00	合計点	388	30.93	6.27

d. 1つのシートに複数の表がある

表-5-2

年齢別・男女別							年齢別・男女別			
都市階級区分				大・中都市			都市階級区分			
区分				標本数	平均値	標準偏差	区分			
項目				標本数	平均値	標準偏差	7歳(男子)			
				標本数	平均値	標準偏差	小都市			
体格	1	身長 (cm)		332	122.43	5.38	身長	524	122.70	5.26
	2	体重 (kg)		316	23.88	3.47	体重	507	23.90	3.32



表-5-1

年齢別・男女別							6歳(男子)			
都市階級区分				大・中都市			小都市			
区分				標本数	平均値	標準偏差	区分			
項目				標本数	平均値	標準偏差	標本数			
				標本数	平均値	標準偏差	平均値			
				標本数	平均値	標準偏差	標準偏差			
体格	1	身長 (cm)		358	116.87	4.64	482	117.32	4.86	
	2	体重 (kg)		349	21.34	2.67	463	21.68	2.81	
テスト	1	握力 (kg)		317	9.17	2.22	458	9.04	2.14	
	2	上体起こし (回)		322	12.07	4.64	458	11.97	4.66	
テスト	3	長座体前屈 (cm)		322	26.73	6.62	470	26.73	6.62	
	4	反復横とび (点)		458	27.47	5.28	458	27.47	5.28	
テスト	5	20m シャトルラン (折り返し数)		331	17.69	9.26	458	18.43	9.11	
	6	50m 走 (秒)		352	11.55	1.03	472	11.44	1.04	
テスト	7	立ち幅とび (cm)		60	117.28	19.05	459	117.28	19.05	
	8	ソフトボール投げ (m)		28	8.13	3.35	480	8.13	3.35	
テスト	9	合計点		261	30.32	6.00	388	30.93	6.27	

回答者の属性	集計客体数		推定母集団数	回答者の属性	集計客体数		推定母集団数
	人	%			人	人	
総数	5,367	100	192,334				
【平成30年3月31日時点の勤務先】							
現在と同じ	5,289	98.5	189,196	【国籍】			
他の大学等	78	1.5	3,138	日本	5,250	97.8	188,079
				外国	117	2.2	4,255
【大学等の種類】				【性別】			
大学の学部	4,502	83.9	167,850	男性	4,314	80.4	143,137
短期大学	159	3.0	8,598	女性	1,053	19.6	49,197
高等専門学校	192	3.6	4,933	【職名】			
大学附置研究所	198	3.7	4,614	教授	2,175	40.5	74,983
大学共同利用機関	110	2.0	1,426	准教授	1,592	29.7	54,140
その他	206	3.8	4,913	講師	544	10.1	25,407
【組織の形態】				助教	997	18.6	34,886
国立	2,537	47.3	87,363	助手	59	1.1	2,918
公立	374	7.0	12,489	20歳～29歳	83	1.5	2,719
私立	2,456	45.7	82,482	30歳～34歳	345	6.4	12,489
【組織の学問分野】				35歳～39歳	687	12.8	24,981
人文・社会科学	820	15.3	47,363	40歳～44歳	912	17.0	33,477
文学	234	4.4	12,521	45歳～49歳	897	16.7	32,460
法学	82	1.5	4,738	50歳～54歳	836	15.6	29,133
経済学	235	4.4	13,579	55歳～59歳	782	14.6	27,650
その他の人文・社会科学	269	5.0	15,544	60歳～64歳	637	11.9	21,705
自然科学	4,055	75.6	116,522	65歳～	186	3.5	7,592
理学	917	17.1	10,337				
工学	1,307	24.4	33,581				
農学	893	16.6	7,019				
保健	938	17.5	65,585				
保健-医歯薬学	712	13.3	49,783				
保健-その他	226	4.2	15,802				
その他	492	9.2	28,430				
家政学	108	2.0	6,241				
教育学	230	4.3	13,290				
その他	154	2.9	8,899				

c. 表を折り返している

修正後

回答者の属性	集計客体数		推定母集団数
	人	%	
総数	5,367	100	192,334
【平成30年3月31日時点の勤務先】			
現在と同じ	5,289	98.5	189,196
他の大学等	78	1.5	3,138
【大学等の種類】			
大学の学部		83.9	167,850
短期大学		3.0	8,598
高等専門学校		3.6	4,933
大学附置研究所		3.7	4,614
大学共同利用機関		2.0	1,426
その他		3.8	4,913
§			
【年齢階層】			
～24歳	1	0.0	70
25歳～29歳	83	1.5	2,719
30歳～34歳	345	6.4	12,489
35歳～39歳	687	12.8	24,981
40歳～44歳	912	17.0	33,477
45歳～49歳	897	16.7	32,460
50歳～54歳	836	15.6	29,133
55歳～59歳	782	14.6	27,650
60歳～64歳	637	11.9	21,705
65歳～	186	3.5	7,592

c. 表を1つにする

(2) 表頭・表側に関するチェック

- a. セルの結合をしない (1-4)
- b. スペースや改行等で体裁を整えない (1-5)
- c. 項目等を省略しない (1-6)
- d. オブジェクトを使用しない (1-8)
- e. 単位行の挿入 (1-9)
- f. 時間（西暦）項目、地域項目の確認 (1-11) (1-12)

区分	計			19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳
	計	男	女						
全国	376,478	142,853	233,625	1	23	82	3,456	8,610	9,809
北海道	17,800	8,474	9,326	1	2	11	104	288	363
青森県	4,135	1,408	2,727	—	—	—	22	60	62
岩手県	4,134	1,498	2,633	—	—	—	31	90	101
宮城県	7,355	2,945	4,410	—	—	—	—	—	209
秋田県	2,877	—	—	—	—	—	—	—	60
山形県	3,603	—	—	—	—	—	—	—	99
福島県	6,340	2,221	4,119	—	1	3	62	135	155
茨城県	8,560	—	—	—	—	—	87	199	232
栃木県	6,093	—	—	—	—	—	62	169	155
群馬県	5,678	—	—	—	—	—	33	88	129
埼玉県	18,719	7,099	11,620	—	2	1	156	473	530
千葉県	17,183	—	—	—	1	12	192	403	463
東京都	32,170	—	—	—	—	1	214	616	907
神奈川県	23,266	—	—	—	4	3	259	620	650
新潟県	7,517	2,930	4,587	—	—	—	70	167	198



区分	計			19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳
	計	男	女						
単位	人	人	人	人	人	人	人	人	人
全国	376,478	142,853	233,625	1	23	82	3,456	8,610	9,809
北海道	17,800	8,474	9,326	1	2	11	104	288	363
青森県	4,135	1,408	2,727	—	—	—	22	60	62
岩手県	4,134	1,498	2,633	—	—	—	31	90	101
宮城県	7,355	2,945	4,410	—	—	—	—	—	209
秋田県	2,877	—	—	—	—	—	—	—	60
山形県	3,603	—	—	—	—	—	—	—	99
福島県	6,340	2,221	4,119	—	1	3	62	135	155
茨城県	8,560	—	—	—	—	—	87	199	232
栃木県	6,093	—	—	—	—	—	62	169	155
群馬県	5,678	—	—	—	—	—	33	88	129
埼玉県	18,719	7,099	11,620	—	2	1	156	473	530
千葉県	17,183	—	—	—	1	12	192	403	463
東京都	32,170	—	—	—	—	1	214	616	907
神奈川県	23,266	—	—	—	4	3	259	620	650
新潟県	7,517	2,930	4,587	—	—	—	70	167	198

表-5-1

		年 齢 別 ・ 男 女 別				
		都 市 階 級 区 分		大・中都市		
項目	区 分			標本数	平均値	標準偏差
体 格	1	身	長 (cm)	358	116.87	4.64
	2	体	重 (kg)	349	21.34	2.67
テ ス ト	1	握	力 (kg)	317	9.17	2.22
	2	上 体	起 こ し (回)	322	12.07	4.64
	3	長 座 体	前 屈 (cm)	351	25.23	6.68
	4	反		348	27.15	4.57
	5	20m		331	17.69	9.26
	6	50m	走	352	11.55	1.03
	7	立 ち 幅	と び (cm)	325	116.23	19.60
	8	ソ フ ト ボ ール 投 げ	(m)	357	8.16	3.28
	9	合 計	点	261	30.32	6.00

d. オブジェクトを使用している



表-5-1

		年 齢 別 ・ 男 女 別				
		都 市 階 級 区 分		大・中都市		
項目	区 分			標本数	平均値	標準偏差
体格	1	身	長 (cm)	358	116.87	4.64
体格	2	体	重 (kg)	349	21.34	2.67
テスト	1	握	力 (kg)	317	9.17	2.22
テスト	2	上 体	起 こ し (回)	322	12.07	4.64
テスト	3	長 座 体	前 屈 (cm)	351	25.23	6.68
テスト	4	反		348	27.15	4.57
テスト	5	20m		331	17.69	9.26
テスト	6	50m	走 (秒)	352	11.55	1.03
テスト	7	立 ち 幅	と び (cm)	325	116.23	19.60
テスト	8	ソ フ ト ボ ール 投 げ	(m)	357	8.16	3.28
テスト	9	合 計	点	261	30.32	6.00

d. オブジェクトを使用していない

(3) データ部分に関するチェック

- a. 文字列を使用しない (1-3)
- b. 機種依存文字を使用しない (1-10)
- c. 秘匿等の特殊処理について統一ルールに従う (1-13)

区分	計	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上40年未満	40年以上	平均勤務年数(年)	
認定こども園 幼保連携型	計	100.0	50.9	25.5	8.6	4.6	3.3	3.3	2.3	1.2	0.3	7.8
	① 国立	100.0	50.9	25.5	8.6	4.6	3.3	3.3	2.3	1.2	0.3	7.8
	② 公立	100.0	47.5	25.9	9.8	6.4	4.1	2.4	1.5	1.0	1.3	8.3
小学校	計	100.0	28.2	17.2	15.2	11.9	7.9	6.4	6.5	4.5	2.2	14.1
	① 国立	100.0	28.2	17.2	15.2	11.9	7.9	6.4	6.5	4.5	2.2	14.1
	② 公立	100.0	28.2	17.2	15.2	11.9	7.9	6.4	6.5	4.5	2.2	14.1
義務教育学校	計	100.0	21.3	19.2	15.2	11.4	6.8	8.6	10.8	6.0	0.7	15.7
	① 国立	100.0	7.7	20.9	30.6	18.9	8.2	5.6	6.6	1.5	—	14.8
	② 公立	100.0	21.7	19.2	14.7	11.2	6.7	8.7	10.9	6.2	0.8	15.7
③ 私立	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



区分	計	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上35年未満	35年以上40年未満	40年以上	平均勤務年数(年)	
認定こども園 幼保連携型	計	100.0	50.9	25.5	8.6	4.6	3.3	3.3	2.3	1.2	0.3	7.8
	国立	100.0	50.9	25.5	8.6	4.6	3.3	3.3	2.3	1.2	0.3	7.8
	公立	100.0	47.5	25.9	9.8	6.4	4.1	2.4	1.5	1.0	1.3	8.3
小学校	計	100.0	28.2	17.2	15.2	11.9	7.9	6.4	6.5	4.5	2.2	14.1
	国立	100.0	28.2	17.2	15.2	11.9	7.9	6.4	6.5	4.5	2.2	14.1
	公立	100.0	28.2	17.2	15.2	11.9	7.9	6.4	6.5	4.5	2.2	14.1
義務教育学校	計	100.0	21.3	19.2	15.2	11.4	6.8	8.6	10.8	6.0	0.7	15.7
	国立	100.0	7.7	20.9	30.6	18.9	8.2	5.6	6.6	1.5	—	14.8
	公立	100.0	21.7	19.2	14.7	11.2	6.7	8.7	10.9	6.2	0.8	15.7
私立	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

2-3. 修正例

既存の統計表を用いて、機械判読可能なデータとする例を示す（例「大学・短期大学・高等専門学校におけるインターンシップ実施状況等調査」）。

（現状）公表資料がそのまま掲載されており、かつ複数の表が掲載されている。

集計表

1. 単位認定を行うインターンシップの状況

(1) 実施校数・実施率

学校種別		実施状況	(参考) 令和元年度 実施状況
		実施校数 (実施率)	実施校数 (実施率)
大学	学部	485校 (62.3%)	547校 (71.9%)
	大学院	109校 (16.7%)	171校 (26.6%)
	小計 (注1)	489校 (60.9%)	563校 (71.6%)
短期大学		112校 (35.6%)	134校 (41.1%)
高等専門学校		52校 (91.2%)	57校 (100.0%)
合計		653校 (55.6%)	754校 (64.5%)

(2) 国公立別実施校数・実施率 (大学 (学部・大学院) のみ)

国公立別	実施状況
	実施校数 (実施率)
国立	75校 (87.2%)
公立	52校 (53.1%)
私立	362校 (58.5%)
合計	489校 (60.9%)

(注1) 「小計」は、学部・大学院の両方を設置している大学は1校としてカウント。以下同じ。

(3) 参加学生数・参加率

学校種別		実施状況	(参考) 令和元年度 実施状況
		参加学生数 (参加率) (注1・注2)	参加学生数 (参加率)
大学	学部	46,262人 (1.7%)	77,594人 (3.0%)
	大学院	4,637人 (1.8%)	6,367人 (2.5%)
	小計	50,899人 (1.7%)	83,961人 (2.9%)
短期大学		3,945人 (3.9%)	7,471人 (6.7%)
高等専門学校		5,576人 (9.8%)	10,193人 (17.9%)
合計		60,420人 (2.0%)	101,625人 (3.3%)

(4) 国公立別参加学生数・参加率 (大学 (学部・大学院) のみ)

国公立別	実施状況
	参加学生数 (参加率)
国立	13,202人 (2.2%)
公立	2,665人 (1.7%)
私立	35,032人 (1.6%)
合計	50,899人 (1.7%)

(注1) 参加学生数は延べ人数。

(注2) 「参加率」は令和3年度学校基本調査における各学校種の学生数をもとに算出。以下同じ。



（修正1）1シートに1集計表とする。（チェック項目2-2）

(1) 実施校数・実施率

学校種別		実施状況	(参考) 令和元年度 実施状況
		実施校数 (実施率)	実施校数 (実施率)
大学	学部	485校 (62.3%)	547校 (71.9%)
	大学院	109校 (16.7%)	171校 (26.6%)
	小計 (注1)	489校 (60.9%)	563校 (71.6%)
短期大学		112校 (35.6%)	134校 (41.1%)
高等専門学校		52校 (91.2%)	57校 (100.0%)
合計		653校 (55.6%)	754校 (64.5%)



(修正2) 表頭を修正する。(チェック項目 1-4 (セルの結合解除)、1-9 (単位付与))

(1) 実施校数・実施率

学校種別		令和3年度	令和3年度	(参考) 令和元年度	(参考) 令和元年度
		実施校数	実施率	実施校数	実施率
		(校)	(%)	(校)	(%)
大学	学部	485	62.3%	547	71.9%
	大学院	109	16.7%	171	26.6%
	小計(注1)	489	60.9%	563	71.6%
短期大学		112	35.6%	134	41.1%
高等専門学校		52	91.2%	57	100.0%
合計		653	55.6%	754	64.5%



(修正3) 表側を修正する。(チェック項目 1-4 (セルの結合解除)、1-6 (項目名記載))

(1) 実施校数・実施率

学校種別	令和3年度	令和3年度	(参考) 令和元年度	(参考) 令和元年度
	実施校数	実施率	実施校数	実施率
	(校)	(%)	(校)	(%)
大学・学部	485	62.3%	547	71.9%
大学・大学院	109	16.7%	171	26.6%
大学・小計(注1)	489	60.9%	563	71.6%
短期大学	112	35.6%	134	41.1%
高等専門学校	52	91.2%	57	100.0%
合計	653	55.6%	754	64.5%

第4章 補足

補足として、総務省統計局「統計表における機械判読可能なデータ作成に関する表記方法」掲載のチェック内容には必ずしもあたらないが、オープンデータとしての利用促進を念頭においた場合、修正した方がより望ましい事例をあげる。

4-1 同じ統計で異なるレイアウトの表を作成している

統計データの接合などのやりやすさを念頭におき、同じ統計で同じ項目で集計を行っている場合は、表側項目はできる限りそろえる方が望ましい。

- 現状：集計表ごとで表側が異なる（（1）では前年度の項目が逐一あり、（3）はない）。

(1) 接続回線種別

学校種	学校数（再掲）	インターネット接続学校数
	校	校
小学校（前年度）	18797	18797
小学校	18610	18610
中学校（前年度）	9143	9143
中学校	9072	9072
義務教育学校（前年度）	145	145
義務教育学校	173	173
高等学校（前年度）	3518	3518
高等学校	3485	3485
高等学校（専門学科・総合学科単独及び複数学科設置校）（前年度）	1850	1850
高等学校（専門学科・総合学科単独及び複数学科設置校）	1840	1840
中等教育学校（前年度）	34	34
中等教育学校	35	35
特別支援学校（前年度）	1095	1095
特別支援学校	1107	1107
合計（前年度）	32732	32732
合計	32482	32482

(3) 教育情報セキュリティポリシーの策定状況

学校種	学校数（再掲）	学校向けの情報セキュリティポリシーを策定している	割合
	校	校	%
小学校	18610	13143	70.6
中学校	9072	6381	70.3
義務教育学校	173	118	68.2
高等学校	3485	2659	76.3
高等学校（専門学科・総合学科単独及び複数学科設置校）	1840	1442	78.4
中等教育学校	35	27	77.1
特別支援学校	1107	811	73.3
合計	32482	23139	71.2



- 修正案：（1）の表側（前年度）を表頭にして、（3）と表側を統一

(1) 接続回線種別

学校種	学校数（再掲）	学校数（再掲）	インターネット接続学校数	インターネット接続学校数
単位	校	校	校	校
小学校	18610	18797	18610	18797
中学校	9072	9143	9072	9143
義務教育学校	173	145	173	145
高等学校	3485	3518	3485	3518
高等学校（専門学科・総合学科単独及び複数学科設置校）	1840	1850	1840	1850
中等教育学校	35	34	35	34
特別支援学校	1107	1095	1107	1095
合計	32482	32732	32482	32732

[出所]学校における教育の情報化の実態等に関する調査

4-2 集計項目（平均値など）の位置がわかりにくい

項目平均などの集計項目が、集計前の個別の項目とは異なる列・行に配置されている。集計する項目と集計結果の項目は、同じ行あるいは列に配置した方が望ましい。

■現状：大項目の平均値が、集計元の数値とは異なる列にある。

(1) 合計

		「できる」若しくは 「ややできる」	「できる」若しくは 「ややできる」	大項目平均
		(人)	(%)	(%)
A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力				
A1	教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する。	670083	89.4	88.5
A2	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料を集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。	661757	88.2	
A3	授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するために、ワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。	691730	92.2	
A4	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。	629972	84.0	



■修正案：集計項目（大項目平均）を、集計した各項目と同じ列に移動

(1) 合計

		「できる」若しくは 「ややできる」	「できる」若しくは 「ややできる」
		(人)	(%)
A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力			
A	大項目平均	—	88.5
A1	教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する。	670083	89.4
A2	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料を集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。	661757	88.2
A3	授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するために、ワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。	691730	92.2
A4	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。	629972	84.0

[出所]学校における教育の情報化の実態等に関する調査

4-3 表頭と表側の配置について

集計表の作成では、関心のある集計項目を表頭に、説明要因とする属性項目（分類項目）を表側に配置することが慣例的に多い（ただし、海外では必ずしもそうではない）。他の統計とのデータ接続のしやすさを念頭においた場合は、本ルールに従った表頭・表側（属性項目を表側におく）とした方が望ましい。

※ただし、下記例（費用項目）のように関心のある多数の項目を比較してみたい場合は、関心のある集計項目を表側に並べた方がよい場合もある。集計表の利用用途を考慮して作成する必要がある。

■現状：属性項目が表頭にある。

区分	公立幼稚園										私立幼稚園													
	平均		性別		年齢別						平均		性別		年齢別									
			男		女		3歳		4歳		5歳				男		女		3歳		4歳		5歳	
	支出者 支出率 (%)	平均額 (千円)																						
学習費総額	99.9	165	99.9	156	99.9	175	100.0	133	99.8	141	99.9	199	99.9	309	99.8	288	99.9	331	100.0	309	99.9	276	99.8	340
学校教育費	99.8	61	99.9	61	99.6	62	99.9	65	99.8	48	99.6	70	99.8	135	99.8	133	99.9	138	100.0	181	99.9	101	99.6	126
入学金・入園料	2.3	12	2.2	10	2.5	13	7.2	13	2.4	10	20.8	63	21.0	60	20.5	65	66.7	63
入学時に納付した施設整備費等	1.5	5	1.4	4	1.6	6	4.6	6	1.6	3	9.8	22	9.1	21	10.4	22	31.3	22
入学検定料	0.6	6	0.8	7	0.3	4	1.6	5	0.8	8	13.7	5	13.3	5	14.1	6	44.1	5
授業料	26.5	21	27.8	22	25.2	20	20.6	16	26.1	18	29.6	24	49.7	56	49.7	55	49.8	58	49.1	59	49.9	51	50.2	59
施設整備費等	41.2	22	40.8	22	41.6	22	40.1	21	41.4	22	42.0	23
修学旅行費	0.3	16	0.2	1	0.3	26	-	-	0.2	24	0.4	14	1.0	6	1.1	6	0.9	7	-	-	0.4	10	2.5	6
校外学習費	32.0	2	32.0	2	32.0	2	23.4	2	36.4	2	32.8	3	34.1	4	32.9	5	35.4	4	27.2	3	26.0	4	47.7	5
学級・児童会・生徒会費	25.3	8	24.9	9	25.8	8	22.2	7	25.5	8	26.6	9	10.5	8	10.7	8	10.2	8	9.0	6	8.9	8	13.2	9
その他の学校納付金	53.8	4	54.3	3	53.2	4	52.8	3	57.0	3	51.8	4	39.7	8	38.7	8	40.6	8	40.8	7	38.9	8	39.3	9
PTA会費	77.7	5	78.4	5	77.0	5	78.9	5	77.3	5	77.5	5	54.3	6	56.4	6	52.1	6	57.9	6	52.7	6	52.5	7
後援会費	2.2	3	2.5	3	2.0	3	1.8	3	2.2	3	2.4	2	6.4	6	5.6	6	7.1	7	6.3	6	4.8	8	7.8	6
寄附金	1.6	11	2.2	11	1.0	9	2.1	25	1.1	2	1.9	7	7.0	8	6.4	10	7.6	6	6.1	7	4.5	7	10.1	9
教科書費・教科書以外の図書費	49.2	6	52.5	6	45.7	6	46.3	6	49.9	6	50.0	7	56.5	8	56.3	8	56.7	8	55.4	7	54.8	8	59.1	9
学用品・実験実習材料費	84.9	9	84.0	9	85.9	10	92.4	10	87.4	8	79.5	11	89.0	13	87.7	13	90.3	13	94.6	17	87.2	12	85.8	10
教科外活動費	17.2	3	16.8	3	17.6	2	18.0	2	16.1	3	17.6	3	32.6	13	33.2	14	31.9	11	29.7	10	32.7	15	35.0	13
進学費	24.6	26	24.5	22	24.6	30	28.3	31	24.7	26	22.7	23	61.7	34	61.3	34	62.2	34	65.2	37	99.3	35	61.0	31
制服	38.6	8	38.9	8	38.3	9	58.7	10	40.9	7	27.4	8	44.5	15	44.4	15	44.7	16	75.5	20	34.8	11	26.5	9
進学用品費	76.8	17	78.7	17	74.8	17	92.7	11	72.7	8	72.4	27	71.7	16	72.1	15	71.3	17	85.5	11	63.6	8	67.2	28
その他	95.2	13	94.8	12	95.5	13	97.3	15	95.2	10	94.1	14	93.6	14	93.4	13	93.8	14	95.5	13	90.3	10	95.0	17



■修正案：表頭と表側を入れ換える。

区分	公立幼稚園		学 習 費 総 額	学 校 教 育 費	入 学 金 ・ 入 園 料	入 学 時 に 納 付 し た 施 設 整 備 費 等	入 学 検 定 料	授 業 料	施 設 整 備 費 等	修 学 旅 行 費	校 外 学 習 費	学 級 ・ 児 童 会 ・ 生 徒 会 費	そ の 他 の 学 校 納 付 金
	平均	支出率 (%) 支出者平均額 (千円)											
公立幼稚園	平均	99.9 165	99.8 61	2.3 12	1.5 5	0.6 6	26.5 21	...	0.3 16	32.0 2	25.3 8	53.8 4	
	性別	男	99.9 156	99.9 61	2.2 10	1.4 4	0.8 7	27.8 22	...	0.2 1	32.0 2	24.9 9	54.3 3
	女	99.9 175	99.6 62	2.5 13	1.6 6	0.3 4	25.2 20	...	0.3 26	32.0 2	25.8 8	53.2 4	
年齢別	3歳	100.0 133	99.9 65	7.2 13	4.6 6	1.6 5	20.6 16	...	-	23.4 2	22.2 7	52.8 3	
		4歳	99.8 141	99.8 48	2.4 10	1.6 3	0.8 8	26.1 18	...	0.2 24	36.4 2	25.5 8	57.0 3
		5歳	99.9 199	99.6 70	0.4 14	32.8 3	26.6 9	51.8 4
		3歳	100.0 133	99.9 65	7.2 13	4.6 6	1.6 5	20.6 16	...	-	23.4 2	22.2 7	52.8 3
		4歳	99.8 141	99.8 48	2.4 10	1.6 3	0.8 8	26.1 18	...	0.2 24	36.4 2	25.5 8	57.0 3
		5歳	99.9 199	99.6 70	0.4 14	32.8 3	26.6 9	51.8 4

[出所] 子供の学習費調査